

第3節 警防課

〔総括概要〕

警防課の主な分掌事務は、火災を警戒、鎮圧し排除するための警防対策、消防計画関係、他の消防機関との相互応援協定関係、消防車両の整備及び配置管理関係、消防水利関係、水防関係、安全運転管理関係、救急事務関係、救急医療情報関係、救急救命士の養成教育関係、メディカルコントロール事務関係、救急車両及び救急資器材の整備・配置管理関係等である。

警防業務では、複雑多様化する各種災害発生時における市民の生命、身体及び財産を守るための消防計画の策定、高度で有効な消防活動が展開できるよう消防車両・消防資器材の維持管理及び更新等を行った。

救急管理業務では、増加傾向にある救急事案に対応するため、プレホスピタルケア（病院前救護）体制の構築、メディカルコントロール（医学的観点から救急隊員が行う応急処置等の質を保証）での事後検証及び救急救命士の養成及び教育を行っているほか高規格救急自動車及び救急資器材の整備等を行った。

また、救急出動時において、適切な病院選定が可能となる救急医療情報端末を救急車に整備し、積極的な救急対応に努めた。

警防係

1 消防車両現勢

区分 署・種別		車名	年式	備考
消防本部	庁用車	ニッサン	平成 7	
	指令車	〃	平成 9	
	総務連絡車	トヨタ	平成 10	
	査察広報車	〃	平成 20	
	予防広報車	ニッサン	平成 11	
	防火号	ニッサン	平成 24	
	予防連絡車	スズキ	平成 20	
	物資搬送車	マツダ	平成 21	
栃木市消防署	普通ポンプ車	三菱	平成 4	
	水槽付ポンプ車	いすゞ	平成 10	水槽 2,500 ℓ
	化学車	日野	平成 19	水槽 1,500 ℓ 薬液 500 ℓ
	梯子車	〃	平成 5	30m級
	救助工作車	いすゞ	平成 9	クレーン、ウインチ、照明装置付
	災害支援車	〃	平成 25	
	救急車	トヨタ	平成 24	高規格
	〃	〃	平成 19	〃
	〃	〃	平成 22	〃
	栃木広報車	〃	平成 15	
大平分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 10	
	化学車	日野	平成 22	
	救急車	トヨタ	平成 21	高規格
	大平広報車	〃	平成 21	
藤岡分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 20	
	水槽付ポンプ車	〃	平成 11	
	救急車	ニッサン	平成 15	高規格
	藤岡広報車	トヨタ	平成 20	
都賀分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 11	
	水槽付ポンプ車	〃	平成 2	
	救急車	トヨタ	平成 18	高規格
	都賀広報車	〃	平成 23	

西方分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 22	
	水槽付ポンプ車	〃	平成 12	
	救急車	トヨタ	平成 20	高規格
	西方広報車	〃	平成 24	

2 地域別消防水利設置状況 (単位:基)

	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	計
消火栓	1,399	428	375	292	148	2,642
防火井戸	240	106	43	4	-	393
防火水槽	563	170	236	103	41	1,113
プール	24	6	6	4	3	43
計	2,226	710	660	403	192	4,191

3 消防資機材 (単位:一式)

種別	所属別	合計	消防本部	消防署				
				栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署
救助器具	救命索発射銃	3	-	3	-	-	-	-
	油圧式救助器具	5	-	3	-	2	-	-
	ワイヤーはしご	1	-	1	-	-	-	-
	可搬式ウインチ	4	-	3	-	1	-	-
	救助マット	3	-	3	-	-	-	-
	排煙機	2	-	1	1	-	-	-
	自動ポンプ式油圧救助器具	2	-	1	-	1	-	-
	マット型空気ジャッキ	1	-	1	-	-	-	-
	耐熱防護服	6	-	6	-	-	-	-
	化学防護服 (防毒衣)	14	-	10	2	-	2	-
	放射線防護服	3	-	3	-	-	-	-
	放射線測定器	4	-	4	-	-	-	-
	可燃・有毒ガス測定器	6	-	2	1	1	1	1
	耐電用防護服	3	-	3	-	-	-	-
	潜水器具一式	8	-	8	-	-	-	-
	救命ボート	4	-	2	-	1	-	1
	船外機	1	-	-	-	1	-	-
エアーテント	2	-	2	-	-	-	-	

救急用具	人工呼吸器	7	-	3	1	1	1	1
	陰圧式固定具	8	-	3	1	1	1	2
	バックボード一式	13	-	5	2	2	2	2
	血圧計	17	-	6	2	3	3	3
	血中酸素飽和濃度測定器	12	-	3	2	2	2	3
	血中酸素・一酸化炭素飽和濃度測定器	4	-	3	-	-	1	-
	吸引器	12	-	5	2	2	1	2
	喉頭鏡	11	-	2	2	3	2	2
	半自動体外式除細動器	7	-	3	1	1	1	1
	自動体外式除細動器 (AED)	5	-	1	1	1	1	1
	ベットサイドモニター	7	-	3	1	1	1	1
	輸液用資機材	5	-	1	1	1	1	1
破壊器具	エンジンカッター	5	-	1	1	1	1	1
	エアツール	2	-	1	1	-	-	-
	ガス熔断器	2	-	2	-	-	-	-
	チェーンソー	2	-	2	-	-	-	-
	削岩器	1	-	1	-	-	-	-
	万能斧	10	-	6	2	-	1	1
呼吸保護具	空気充填設備	1	-	1	-	-	-	-
	空気呼吸器	54	-	28	7	7	6	6
	空気ボンベ	162	-	85	22	20	17	18
	酸素呼吸器	5	-	5	-	-	-	-
	簡易呼吸器	3	-	3	-	-	-	-
作業用具	ホースカー	8	-	2	1	2	1	2
	連梯子	12	-	4	2	2	2	2
	かぎ付梯子	2	-	2	-	-	-	-
	照明発電機	15	1	6	2	3	1	2
	拡声装置	29	3	11	4	4	3	4
放水・発砲器具	簡易発泡器	5	-	2	1	1	1	-
	エアフォームノズル	9	-	5	4	-	-	-
	ピックアップノズル	4	-	1	-	1	1	1
	ラインプロポーションナー	4	-	1	1	1	1	-
	消火栓用スタンドパイプ	13	-	5	2	2	2	2
	分岐金具	21	-	9	3	3	3	3
	ホースブリッジ	11	-	3	2	2	2	2
	ロータリー管鎗	3	-	1	-	1	1	-
	フォグガン	13	-	5	2	2	2	2
	山林火災用手動ポンプ	57	-	28	5	10	5	9

	山林火災用可搬式送水装置	6	-	2	1	1	1	1
	ウォーターチャージャー	6	-	2	1	2	-	1
	界面活性剤原液(ℓ)	2,600	-	1,340	380	340	280	260
その他の器具	超音波厚さ計	1	1	-	-	-	-	-
	ピンホール探知機	1	1	-	-	-	-	-
	膜厚計	1	1	-	-	-	-	-
	非接触温度計	4	-	1	1	1	-	1

4 消防相互応援協定関係

- (1) 東北自動車道消防相互応援協定
- (2) 特殊災害消防対策相互応援協定
- (3) 特殊災害消防相互応援協定
- (4) 消防相互応援協定

救急管理係

1 救急救命士養成

救急救命士は国家資格であり、救急救命処置は、医師の具体的指示の基に行われている。現在 34 人が救急救命士として認定されている。

救命率の向上、高度化する救急業務に対応するため、毎年 1～2 人の救急救命士を養成している。

- (1) 救急救命士の編成状況 (単位:人)

消防本部	消 防 署				
	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署
1	13	7	4	4	5

- (2) 救急救命士資格状況 (単位:人)

救急救命士資格別		試験別	合格者数	新試験合格者数	認定者・合格者数合計
			(平成 18 年以前)	(平成 18 年以降)	
救 急 救 命 士 認 定			22	12	34
資 格 内 訳	薬剤投与実施救命士認定		13		13
	薬剤投与連携確認試験合格者		12	10	22
	気管挿管実施救命士認定		17	5	22

2 事後検証会

毎月救急救命士は、地域メディカルコントロール (MC) の基に、心肺停止等救急事案の事後検証を行うことによりプロトコル (確実に救命処置を行うための手順) 厳守の重要性、MC体制の必要性など、救急救命士としての資質向上を図っている。

- ・実施回数 22 回